

中学校体育  
教員から学ぶ

## 「わかる」「できる」「楽しい」授業づくり

### 子どもたちが主体的に取り組むための工夫

#### チームリーダーを中心とした生徒主体の学びをコーディネート



チームリーダーに、めあて、課題などの**確認事項や注意点**を伝える



チームリーダーが**中心**となり、グループのめあてや作戦について**話し合う**



チームの課題を達成するための練習・ゲームで**試す**

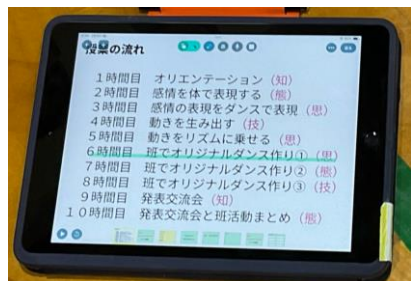
「生徒がつくる授業」 教員は、今日の流れやポイントを端的に伝えていました。チームの状況を把握し、自分たちに合った方法を選んで活動していました。中間指導では、チームリーダーを招集し、困りや大切なことを共有していました。その後、チームごとにトライ&チェックをしながら取り組み、運動量も十分に確保されていました。



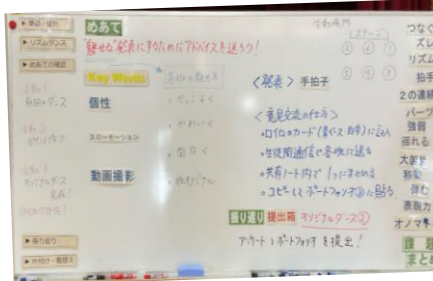
#### どの子も「楽しい」を実感できる単元指導・場の工夫

##### 大切にしていること

- 個性を認め合う
- 肯定表現（言葉・態度）で伝える



今まで習得した動きを使ってオリジナルダンスを作る



本時の流れや手順が分かる



対面式の練習は、他のグループの練習を見ることができる、見られることに慣れる

「見通しのある授業」 生徒の実態に合わせた活動を取り入れながら、ゴールに向けて単元を構想しています。グループのめあてを達成するために、キーワードや動きのポイントを参考にしながら、みんなでダンスを楽しんでいました。毎時間、ポートフォリオ（動きのポイント・動画）に残すことで今日の「できた」を実感でき、次の活動につなげていました。

